

KYO-SENSEプロジェクト共同宣言

第4回京都学生祭典を終えた朝の岡崎。そこには約10トン以上のごみの山がありました。「このままでは毎年多くのごみを出す祭になってしまう、できることから始めなければ。」

こうした考えから、第5回京都学生祭典実行委員会ではエコプロジェクトチームが発足しました。「京都学生祭典本祭による近隣住民の方々への迷惑を少しでも減らしたい。そして、日本、地球の環境にかかる負担を少しでも減らせれば…」

第5回京都学生祭典では、ごみの減量に取り組み、ごみの発生量を約半分に抑えることに成功しました。

そこで第6回京都学生祭典では、環境問題に関する何らかの取り組みを学生がすることで、学生ならではの新しいメッセージを地元京都へ、さらには全国、世界に向けて発信できるのではないかと考え、本プロジェクトを発足しました。

環境元年と呼ばれる今年、いよいよ京都議定書のCO2削減が義務化されます。

日本国内でも地球環境問題への取り組みに関する気運が高まってきました。

そうした中、京都議定書が採択された地である京都で、世界の将来を担う私たち学生が、自分たちの手で市民レベルの新たなムーブメントを起こしていくことは大変重要なことであると考えました。

「京都という場所で、学生だからこそ発信できるメッセージがある」

今年、第6回京都学生祭典では、「KYO-SENSE プロジェクト」の一環としてエコ活動に取り組みます。この「KYO-SENSE」の「KYO」という言葉には、「京」に古くから伝わる伝統的な知恵と「今日」の最新の技術・知恵の二つの意味が込められています。

さらに、「KYO」という言葉には、「地域の人々と学生との『協力』」という想いを込めました。

また「SENSE」には良識、意識、意志等の意味合いがあり、今日を生きる若者の感性「SENSE」で、学生が中心となって年間を通じて市民の人たちと協力しながら環境問題に取り組みつつ、京都の伝統的な知恵を学び活かしていくことを「KYO-SENSE」という言葉で表現しようと考えました。

私たち京都学生祭典では、こうした想いを胸に、次のことに取り組みます。

一、京都に伝わる伝統的な知恵、今日の最新の知恵を学び、できることから始めることの大切さを広めていきます。

一、学生を中心としてエコ活動への意識を啓発します。そして、地域の人々と協力して私たちのメッセージを京都、そして全国へと発信していきます。

一、本プロジェクト最初の年の取り組みとして、まず京都市内での打ち水・清掃活動、風呂敷の普及活動、本祭内での環境負荷軽減の取り組み等を実施します。

年間を通じて、私たちは、「KYO-SENSE」を取り入れたライフスタイルを地域の人々と協力して実践し、京都から新しいムーブメントをはじめていきます。

また、「KYO-SENSE プロジェクト」における活動の発表の場として、京都駅ビルと連携し、京都から全国にメッセージを発信していくことを、ここに宣言いたします。

平成20年5月15日
京都学生祭典実行委員会